



## 編集後記

今年、看護学科は設立20周年を迎えました。短いようで長い年月です。杉谷キャンパスにすっかり馴染んだこの建物にも20年の歴史が感じられます。看護学科棟だけが持つ玄関の大きな4本柱を朝に潜（くぐ）る時、少しだけ心が緊張します。それは玄関が「玄妙に入る関」だからです。玄関とは奥深い真理、絶対的な真理に入っていく関所という意味を表しているそうです。「何事も入り口が肝心」と言われますが、この建物が富山から地域へ、日本へ、世界へ社会貢献する医療者育成の入り口でもあることを自負して、次なる時代を歩みたい、歩んでいただきたいと思います。この写真は2013年6月早朝の看護学科棟全景です（金森昌彦）。